

山行報告書

報告書作成

中根

| | | | |
|---------|---------------|-------|-------------------|
| 山名 [山域] | 南アルプス 光岳 | 目的と方法 | 冬山を前にしたボッカ訓練と写真撮影 |
| 登山期間 | 2007年12月8日～9日 | 山行形態 | 1泊2日小屋泊 |
| メンバー | 中根単独 | | |

行動記録

8日 5時30分岡崎 = 国道153を利用 = 7時平谷 = 天竜 = 平岡 = 下栗 = 易老渡9時15分(ドライブ3時間45分、9時30分発) - 11時面平 - 15時30分易老岳(歩行時間、休憩を含め6時間)

9日5時起床朝食、易老岳頂上付近で写真撮影7時30分発 - 9時45分面平 - 11時易老渡(歩行3時間30分、11時15分発) 遠山温泉郷(約1時間30分休憩) = 阿南 = 平谷 = 153号線 = 17時頃岡崎到着

概念図



日誌

8日の行程を考えると夜行という選択肢も有ったが、前日遅くまで行事があったため、早朝の出発となった。ナビは平谷から阿南を経由するコースを選択したが、距離の少ない天竜村を経由するコースを選択した。しかしかなりの難コースで対向車とすれ違いに苦労した。下栗の里を越すと、林道には落石が散乱しており、夜行で来なくて幸いした。登山口である易老渡の駐車場には車は無く、人気のない静かな登山となりはすであったが、何処からか騒がしい犬の鳴き声が響き気味が悪い。ガイドブックのコースタイムは易老岳まで5時間であるが、登山口の掲示板は6時間である。遠山川を渡ると急登に入るが順調に高度を稼ぎ、1時間30分ほどで面平に到着する。ここでは鹿の警戒音を聞き、姿も見かけたが、写真を取る事が出来なかった。標高1700m付近から積雪が有り地表も凍結しているため早めのアイゼンを着ける。このあたりからうさぎと蹄の無い動物(テンか?)の足跡が登山度に沿い続いており、この足跡に誘われるように進んだ。標高2000m付近から40～50cm位の新雪があり柔らかいので、ステップは地面まで下りるが地表の凸凹が見えないため歩き難い。今回の山行では水2Lや1眼レフカメラ、三脚などかなりの重装備で体力を消耗し当初計画した14時には遠く及ばず頂上到着は15時30分になってしまった。そこで光小屋まで行くことを諦め、易老岳頂上でテント泊することに変更した。翌日も快晴で有ったが、頂上は樹林の中、茶臼岳方向に10分ほど下り視界の良い所で写真撮影し7時30分下山を開始した。下りは時間に余裕がある為、樹林の隙間から聖岳や池口山を眺めながらゆっくり歩いた。帰路下栗の里から現在不通になっている、シラビソ山荘への林道を確認し(不通箇所まで登る)遠山郷の温泉「かくらの湯」(¥600、広く綺麗)で疲れを落とし、ナビの指示に従い阿南町経由で帰った。やはりこのコースが正解であった。

感想

計画では光岳小屋に宿泊し展望の良いイザルガ岳で聖岳と富士山の写真撮影を試みる予定でしたが、易老渡と易老岳の標高差約1500mの歩行時間を甘く見積もり、結果として光岳に行くことが出来ませんでした。今後は余裕のある計画立案に心がけたいと反省しています。